

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	東医臨床学Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時間	前期	教室名	503教室
担 当 教 員	嶋田 琢磨	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
鍼灸治療が行われている疾患のうち、2年次に診断学・治療学を学んだ。それらを元に東洋医学の各症状別アプローチができる東洋医学的治療法の知識を深める。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:『東洋医学臨床論 くはりきゅう編』(医道の日本社) 参考書:ずっと使える!鍼灸臨床BOOK. 滋慶出版/つちや書店						
《授業外における学習方法》						
予習:講義予定部分の教科書の確認 復習:講義箇所に関する教科書の熟読・ノート整理						
《履修に当たっての留意点》						
3年生では症例から検査、鍼灸治療に繋げることが重要である。2年次に学んだ「東医治療学」の復習をしっかり行い、疾患を鑑別できる知識を深めることが大事である。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	診断の意義と治療計画を修得する		教科書 プリント等	シラバス確認。 講義予定部分の教科書・参考書の確認。
		各コマにおける授業予定	東洋医学的診断のプロセス			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	診察法と記録法を理解する		教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
		各コマにおける授業予定	東洋医学的診察法			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	治療の基礎を理解する		教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
		各コマにおける授業予定	東洋医学理論に基づく治療原則			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	症候に対する鍼灸診療を理解する①		教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
		各コマにおける授業予定	全身の症候			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	症候に対する鍼灸診療を理解する②		教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
		各コマにおける授業予定	皮膚・外表の症候			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	症候に対する鍼灸診療を理解する③	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
		各コマにおける授業予定	感覚器の症候		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	症候に対する鍼灸診療を理解する④	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
		各コマにおける授業予定	呼吸・循環の症候		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	症候に対する鍼灸診療を理解する⑤	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
		各コマにおける授業予定	消化器の症候		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	症候に対する鍼灸診療を理解する⑥	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
		各コマにおける授業予定	血液・造血器の症候		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	症候に対する鍼灸診療を理解する⑦	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
		各コマにおける授業予定	腎・泌尿器の症候		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	症候に対する鍼灸診療を理解する⑧	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
		各コマにおける授業予定	生殖器の症候		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	症候に対する鍼灸診療を理解する⑨	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
		各コマにおける授業予定	心理・精神機能の症候		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	症候に対する鍼灸診療を理解する⑩	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
		各コマにおける授業予定	その他の症候		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	症候に対する鍼灸診療を理解する⑪	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
		各コマにおける授業予定	神経・運動器の症候		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
		各コマにおける授業予定	まとめ・評価の確認		